農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

多可町長

市町村名 (市町村コード)	兵庫県多可郡多可町 (283657)	
地域名 (地域内農業集落名)	八千代区 (赤坂集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月23日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は山に囲まれた小さな集落で、ほ場整備されているものの居住区域と混在していることもあり、ほとんどが変形した農地である。また日照や獣害被害から、集落内の農地面積のうち半数以上が耕作されない自己保全農地になっている。そのため耕作できる農地が限られてきているが、農家人口が少ない集落のうえ、高齢化による離農者の増加と、現状の耕作者が新たに農地を預かる余裕はなく、離農者が出た場合に遊休農地化する恐れがあり課題となっている。近年は集落外からの認定農業者等が耕作しているが、こちらも面積増の予定はない。

【基礎データ】

- ・農家軒数 17軒
- ・主な作物 水稲、一般野菜

(2) 地域における農業の将来の在り方

引き続き水稲を中心とした農地活用を図るが、耕作されない農地については地権者が維持管理の徹底をしていくとともに、集落でも協力体制を構築していく。また集落外から耕作にきている農業者や、広域で活動している農業者等へも働きかけを継続し、近隣集落や関係機関と情報共有しながら担い手の確保に努めていく。そのほか、水路等の草刈り作業は集落全体での取り組みを継続していくが、住民もますます高齢になり、草刈り等の作業も困難になりつつあるなかで、今後の農地の維持管理について集落全体での検討を続けていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	3.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	3.3 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0.0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・耕作農地が少ないため集積、集約化は現状困難な状況。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・耕作する農家がいれば農地所有者の理解を得ながら中間管理機構を活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
・多面的機能支払交付金を活用して農業用施設の修繕等を継続する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・町やJA、近隣集落と情報共有しながら多様な経営体の確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①⑦交付金を活用しながら獣害防止柵を整備したり、集落ぐるみで農業用施設等の保全管理を継続する。